



TEAM NEXT YONEZAWA

山形の魅力を伝えるため いざ出陣！

山形の歴史や文化の魅力を全国に発信している「やまがた愛の武将隊」。各地のイベントに出陣し、力強い演舞と地元愛溢れる軽妙なトークで、県内外を問わず多くの人を魅了しています。今回は愛の武将隊の皆さんに、その活動にかける想いをお聞きしました。

「古来より守り継いできた多様な文化と、上杉神社や米沢城跡をはじめとした素晴らしい観光資源に恵まれながら、奥ゆかしい県民性ゆえに積極的な情報発信を慎む風潮が山形県には確かにある。有り体に申せば、競い合うことが不得手なのだ」と想いを語るのは、直江兼続公。そんな県民性や古くからの伝統なども含めて、ありのままの山形の魅力を知ってもらうための媒体となることが愛の武将隊の役目であると兼続公は胸を叩きます。「我が他県に赴き山形の魅力を発信し、興味を持ってもらう。そして我らをきっかけに山形を訪れた人々を『よくぞごったなし』と県民の皆々で温かく迎えることこそが、理想的なPRの形だと考えており申す」。こうした活動が実を結び、最近では子どもたちから「将来は愛の武将隊に入りたい」と言ってもらえることも多くなってきたと、武将隊の皆さんは笑顔で語りました。

今年で結成10周年を迎えた愛の武将隊。今後の目標について、武将隊の皆さんは「武将隊という存在が、米沢に住まう人々にとって上杉神社と同じように誇れる存在になれるよう精進を重ねて参る所存。米沢は歴史を体験できるまち、武将のまちだということを、誰もが自信をもって発信できるよう日々、お役目に励んで参りたい」と、力強く語りました。

山形県や米沢市の魅力を全国に伝える戦国武将隊 やまがた愛の武将隊 (中央4丁目)

平成22年結成。水原常盤介親憲公(写真左)、上杉越後守景勝公(写真中央左)、直江山城守兼続公(写真中央右)、火焰様(写真右)を含む総勢9人の武将が、本市を拠点に全国に山形をPRしている。



刀の持ち方を教える直江兼続公



演舞を披露する武将隊

「米沢品質向上運動」とは

本市では、挑戦と創造のあかし「米沢品質」をスローガンに掲げ、産品だけではなくサービス・観光・文化・行政など、様々な領域の「挑戦と創造」を喚起し、付加価値を高めていくことを目的に「米沢品質向上運動」を展開しています。本市のブランディングに賛同し、この運動に参加するプレイヤーが「TEAM NEXT YONEZAWA (TNY)」です。(11月14日現在、171の企業・団体・個人が登録)

